

リオ五輪にはマリオも登場 世界が愛する日本文化

日本独自の文化として、政府も海外へと積極的に発信するようになった、アニメや原宿、カワイイファッション。国内のみならず、海外の人たちまでも魅了する理由について、「ポップカルチャー論」の著者佐々木隆教授に話を伺った。「COOL JAPAN」という言葉が定着するようになったのは、7〜8年ほど前に日本政府が推進し始めたところです。でも、実際にポップカルチャーの素地が出来上がったのは、'63年のアニメ「鉄腕アトム」放送開始ごろから。その

時代にアニメを見て育った子どもたちは、今や親世代となり、自分が好きなものを子どもたちへ伝えるようになりました。またそれは海外でも同じです。海外では漫画やアニメは特に子どもものとして捉えられてきましたが、日本の作品は世代ごとに楽しめるコンテンツがそろっている。さらに宗教的な内容や海外文学の良いところだけを楽しめるようになってきているのも、人気が高い理由だと思いますね」

ささき たかし◎武蔵野学院大学
副学長・教授。英米文学やポップ
カルチャーなどについて、日本英
学史の視点から研究や講演を行う

『スカパー！月刊ザテレビジョンプレミアム光』（Vol.131、KADOKAWA、2017年2月24日発行）、p.9

『月刊大人ザテレビジョン』（第12巻第4号通巻第129号、KADOKAWA、2017年2月24日発行）、p.9